

農業用ため池を活用した事前放流の取組

農業用ダム

田んぼダム

ため池

排水施設等

位置図

佐賀県武雄市



取組地域の概要

- (一級水系)六角川水系六角川流域
- 令和元年、令和3年の豪雨により大規模な浸水被害が発生
- 六角川水系流域治水プロジェクト2.0及び県独自の佐賀県内水対策プロジェクト(通称「プロジェクト12」)を策定し、農業用ため池の活用を位置付け

焼米ため池の諸元

- 所在地: 佐賀県武雄市北方町
- 所有者・管理者: 白石土地改良区
- 堤高: 12.8m
- 堤頂長: 367m
- 総貯水量: 772千m³

取組内容・効果

- 本ため池では、周辺地域及び下流域の内水氾濫の軽減を目的として、従来から低水位管理を行っていたが、既存の斜樋施設では放流に時間を要し、迅速な水位低下に課題があった。
- このため、関係機関で構成する検討会において、洪水調節容量の早期確保に向けて事前放流の導入を進め、県は令和5年度に事前放流施設(放流ゲートを含む)、令和6年度には遠隔操作施設を整備し、令和5年度から市は事前放流の運用を開始。
- 具体的には、降雨等による災害発生が予想される場合に、気象情報や河川水位の状況を踏まえ、市は県、土地改良区、河川管理者等の関係機関と連携し、遠隔操作による放流ゲートの開放により、約20万m³の洪水調節容量を確保。
- 令和5年6月から令和7年9月までの間に、事前放流を計26回実施し、周辺地域及び下流域の内水氾濫の軽減に寄与。



豪雨による被災状況(R3)



事前放流の状況



事前放流のイメージ



事前放流のイメージ図

大雨前に水位を低下
(約20万m³洪水調節容量確保)

